

2023年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年6月14日

上場会社名 株式会社CAICA DIGITAL 上場取引所 東
 コード番号 2315 URL <https://www.caica.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)鈴木 伸
 問合せ先責任者 (役職名)代表取締役副社長 (氏名)山口 健治 (TEL)03(5657)3000
 四半期報告書提出予定日 2023年6月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年10月期第2四半期の連結業績(2022年11月1日～2023年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年10月期第2四半期	2,494	△31.9	△1,397	—	△1,534	—	△1,350	—
2022年10月期第2四半期	3,661	36.9	64	—	59	—	515	151.1

(注) 包括利益 2023年10月期第2四半期 △1,573百万円 (—%) 2022年10月期第2四半期 653百万円 (259.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年10月期第2四半期	△11 55	—
2022年10月期第2四半期	4 51	—

(注1) 2023年10月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(注2) 2022年10月期第2四半期における潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年10月期第2四半期	62,562	4,134	6.5
2022年10月期	59,032	5,152	8.3

(参考) 自己資本 2023年10月期第2四半期 4,088百万円 2022年10月期 4,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年10月期	—	0 00	—	0 00	0 00
2023年10月期	—	0 00	—	—	—
2023年10月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年10月期の期末配当予想額につきましては、現時点では未定であります。

3. 2023年10月期の連結業績予想(2022年11月1日～2023年10月31日)

当社グループは「ITサービス事業」と「金融サービス事業」を展開しております。この内「金融サービス事業」は、経済情勢や暗号資産市場等の環境の影響を受けることから、業績予想を行うことが困難であるため、連結業績予想を非開示とさせて頂いております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年10月期2Q	123,019,094株	2022年10月期	114,269,094株
2023年10月期2Q	113,895株	2022年10月期	103,785株
2023年10月期2Q	116,959,052株	2022年10月期2Q	114,184,223株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

詳細につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2022年11月1日～2023年4月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による規制が徐々に緩和され、経済活動も緩やかに持ち直しが見られた一方で、ウクライナ情勢の長期化による原材料価格や原油価格の高騰が進み、経済活動の先行きは引き続き不透明な状況となっております。

当社グループが事業を展開するITサービス業界及び金融サービス業界は、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、新たな生活様式が定着していく中で、さらなるデジタルトランスフォーメーションが進むことが予想されます。

このような状況の下、ITサービス事業においては、大手SIer等の既存顧客からの受注の拡大に加え、一次請け比率の向上に努めました。金融サービス事業においては、ブロックチェーンや暗号資産交換所「Zaif」運営の知見を活かし、今後拡大が見込まれるWeb3事業の成長を図っております。第一弾である「NFT事業」に続き、Web3インフラサービス、ステーキングサービスの「Web3 BaaS事業」、ウォレット提供、投げ銭提供の「決済代行事業」、Web3コミュニティ支援の「Web3事業支援」を推進してまいります。

また、これまで業績面、キャッシュ・フロー面で大幅なマイナスの影響をもたらしていた金融サービス事業の在り方を見直し、カイカ証券において業態転換を図るべく、現在、既存商品の早期終了を進めております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は2,494百万円（前年同四半期比31.9%減）となりました。CAICAテクノロジーズにおけるシステム開発が堅調であった一方、カイカ証券における既存商品のサービス終了や、暗号資産交換所「Zaif」を運営するカイカエクステンジ及び暗号資産レンディングサービスや暗号資産の投融資・運用を行う株式会社カイカキャピタル（以下、「カイカキャピタル」といいます。）においては、軟調となりました。

利益面につきましては、前期にカイカエクステンジののれんの全額減損処理を行ったことにより、当期から当該のれんの償却額が発生しなくなったことに加え、グループ全体で経費の圧縮に努めたものの、売上高の減少を補いきれませんでした。この結果、営業損失は1,397百万円（前年同四半期は営業利益64百万円）となりました。経常損失は、当社社会が保有する投資有価証券のうち、将来の期間にわたって実質価額の低下の状態が続くと予想されるものについて減損処理を行い、投資有価証券評価損54百万円を営業外費用に計上したこと、また、当社社会の長期貸付金及び長期未収利息について、貸付先の経営状況及び財務状況に関して検討した結果、当該債権に対する貸倒引当金繰入額73百万円を営業外費用に計上したこと等により、1,534百万円（前年同四半期は経常利益59百万円）となりました。親会社株主に帰属する四半期純損失は1,350百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益515百万円）となりました。

セグメントごとの業績は以下のとおりであります。

1) ITサービス事業

システム開発を担うCAICAテクノロジーズの売上高は前年同四半期を上回っておりますが、利益面では主にシステム開発にかかる原価率の上昇により前年同四半期を下回って進捗しております。

金融機関向けのシステム開発分野は引き続き順調であり、一次請けである保険会社向け案件の売上高が拡大するとともに、銀行向け案件において、一次ベンダからのメガバンク案件を中心に引き合い、受注がともに拡大しております。

非金融向けシステム開発分野は、顧客の事業拡大意欲が強く、IT投資も継続されており、新規案件の引き合いを常に確保できている状況にあります。

フィンテック関連のシステム開発分野は、決済系の案件を中心に安定的に受注を獲得しております。また、受注には至っていないものの、既存顧客以外の暗号資産交換所システムの引き合いを複数件獲得し、現在商談を進めております。

また、当第2四半期連結累計期間において、エンドユーザーのセキュリティリテラシーを向上させる「CAICA Security Training/標的型メール訓練サービス」や、Web3事業に参入する企業を支援する、セミオーダー型NFTマーケットプレイス開発サービスの販売を開始いたしました。CAICAテクノロジーズでは、今後も引き続き自社ソリューションの提供を推進してまいります。

一方、業界全体の課題でもありますが、優秀なエンジニアの獲得競争は激しさを増しております。CAICAテクノロジーズにおいても、人材獲得手法や採用体系の多角化に努め、一般とスペシャリストの処遇体系を

整備するとともに、パートナー企業との連携にも注力しております。

これらの結果、ITサービス事業の売上高は、2,675百万円（前年同四半期比7.9%増）、営業利益は145百万円（前年同四半期比47.9%減）となりました。

2) 金融サービス事業

当社におきましては、当第2四半期連結累計期間は、特筆すべき暗号資産の投融資・運用は行っておりません。当社発行の暗号資産であるカイカコインにつきましては、先般立ち上げを発表したCAICA Verseにて、カイカコインを活用してブロックチェーンゲームを楽しめる予定であり、カイカコインホルダーがブロックチェーンゲームに参加することで新規ユーザーが増加することを見込んでおります。また、Zaifにてカイカコインを売却することによりシームレスな現金化が可能となる予定です。CAICA Verseは、ゲーム運営企業にとって、独自のトークンを発行することなく、ブロックチェーンゲームを運営することができる革新的なビジネスモデルです。

カイカフィナンシャルホールディングスが運営するZaif INOの売上高は、NFTの販売高に応じた販売手数料を収益源としております。第1四半期連結会計期間にスタートした事業でありますため、連結業績への寄与は、しばらく時間を要しますが、2023年6月までに既に10回のNFT販売を実現しております。また、2023年5月に、凸版印刷株式会社とWeb3領域におけるNFT活用の連携を発表いたしました。凸版印刷株式会社には「Zaif INO」の認定代理店として法人向け新規出品者の開拓から出品NFTのPRまでをワンストップでサポートして頂きます。

カイカ証券におきましては、これまで独自のワラント商品に加え、暗号資産関連商品の取り扱いを拡充してまいりましたが、海外の大手暗号資産交換所の経営破綻などを発端とする暗号資産相場の乱調をはじめ、デリバティブ派生商品に対する投資家の意欲の衰退などからカイカ証券の提供する商品の拡充ができなかったうえ、取引量も伸び悩んでおりました。こうした外部環境やカバードワラント事業の高コスト体質を考慮した結果、業態転換を図るべく、現在、既存商品の早期終了を進めております。

カイカエクスチェンジの売上高は主に暗号資産交換所「Zaif」における受入手数料や暗号資産売買の損益で構成されております。当第2四半期連結累計期間においては、暗号資産市場全体の取引高が低迷している影響を受け、厳しい環境が続いており、手数料・暗号資産売買ともに軟調となりました。カイカエクスチェンジでは現在、暗号資産市場の影響を受けにくいストック型収益の比率を上げることで安定基盤の構築を図っております。なかでも「自動売買おてがるトレード」が好調であり、利用者が増加しております。また、2023年7月に「暗号資産FX」のサービスの廃止を予定しております。これによりサービス維持のためのコストが圧縮できる見込みです。加えて、2023年1月に、暗号資産トロン（TRX）、3月にポリゴン/マティック（MATIC）、4月に、ゲンソキシメタバース（MV）及びロンドコイン（ROND）の取り扱いを開始しております。今後も、GameFi領域に特化したものなど、取り扱う暗号資産を厳選し、他社との差別化を図ってまいります。

カイカキャピタルにおきましては、レンディングサービスを活発化させており、現在、ビットコイン（BTC）、シンボル（XYM）、カイカコイン（CICC）の募集を定期的に行っております。暗号資産の投融資・運用につきましては、暗号資産の価格の推移を見極め、慎重にトレーディングを行ってまいりましたが、当第2四半期連結累計期間においては、保有する暗号資産の評価損を計上しております。

これらの結果、金融サービス事業の売上高は△180百万円（前年同四半期は1,283百万円）、営業損失は1,363百万円（前年同四半期は営業損失は27百万円）となりました。

3) その他

その他につきましては、暗号資産コンテンツの提供を行うメディア事業で構成されており、売上高は3百万円、営業利益は3百万円となりました。なお、メディア事業は前第3四半期連結会計期間に開始した事業であることから前年同四半期比の記載はございません。

(2) 財政状態に関する説明

<資産、負債及び純資産の状況>

当第2四半期連結会計期間末における総資産は62,562百万円（前連結会計年度比6.0%増）となりました。これ

は主に利用者暗号資産が6,588百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は58,428百万円(前連結会計年度比8.4%増)となりました。これは主に預り暗号資産が6,588百万円増加したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は4,134百万円(前連結会計年度比19.8%減)となりました。これは主に当第2四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が減少したこと、行使価額修正条項付株式会社CAICA DIGITAL第3回新株予約権の一部権利行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ277百万円増加したことなどによるものであります。

以上のとおり、当第2四半期連結会計期間末においては、自己資本比率が6.5%(前連結会計年度末は8.3%)となりました。

<キャッシュ・フローの状況>

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べて608百万円減少し、2,063百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、747百万円(前年同四半期は2百万円の減少)となりました。主な減少要因としては、税金等調整前四半期純損失1,553百万円などによるものであり、主な増加要因としては、自己保有暗号資産の減少372百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、16百万円(前年同四半期は164百万円の減少)となりました。主な減少要因としては、無形固定資産の取得による支出17百万円などによるものであり、主な増加要因としては、投資有価証券の売却による収入31百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加は、122百万円(前年同四半期は65百万円の減少)となりました。主な減少要因としては、長期借入金の返済による支出360百万円、社債の償還による支出70百万円などによるものであり、主な増加要因としては、株式の発行による収入555百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは「ITサービス事業」と「金融サービス事業」を展開しております。その内「金融サービス事業」は、経済情勢や暗号資産市場等の環境の影響を受けることから、業績予想を行うことが困難であるため、連結業績予想を非開示とさせていただきます。

ITサービス事業においては、大手SIer等の既存顧客からの受注の拡大に加え、一次請けの比率を向上することで、より一段高い収益貢献を目指してまいります。

金融サービス事業においては、ブロックチェーンや暗号資産交換所「Zaif」運営の知見を活かし、今後拡大が見込まれるWeb3事業での成長を図ってまいります。また、これまで業績面、キャッシュ・フロー面で大幅なマイナスの影響をもたらしていた金融サービス事業の在り方を見直し、カイカ証券において業態転換を図るべく、現在、既存商品の早期終了を進めております。暗号資産交換所「Zaif」を運営するカイカエクスチェンジでは、暗号資産市場の影響を受けづらいストック型サービスのラインナップの拡充を図ってまいります。また、GameFi領域に特化したものなど、取り扱う暗号資産を厳選し、他社との差別化を図ってまいります。加えて、2023年7月に「暗号資産FX」のサービスの廃止を予定しております。これによりサービス維持のためのコストが圧縮できる見込みです。カイカキャピタルでは、レンディングサービスの拡大と暗号資産の価格の推移を見極めながら慎重に自己資金による暗号資産投資を拡大してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,671,569	2,063,071
預託金	9,133,000	7,450,000
売掛金	830,966	814,047
商品	4,781	-
仕掛品	2,496	4,460
自己保有暗号資産	1,590,758	1,218,261
利用者暗号資産	43,196,636	49,785,526
短期貸付金	20,000	-
未収入金	171,751	110,663
預け金	414,242	367,439
その他	186,924	106,330
流動資産合計	58,223,128	61,919,799
固定資産		
有形固定資産	55,090	53,426
無形固定資産		
ソフトウェア	1,224	14,490
その他	11,241	11,351
無形固定資産合計	12,466	25,841
投資その他の資産		
投資有価証券	525,219	397,730
出資金	60,826	60,233
長期貸付金	285,503	302,703
その他	91,847	95,104
貸倒引当金	△221,285	△292,005
投資その他の資産合計	742,111	563,766
固定資産合計	809,669	643,035
資産合計	59,032,797	62,562,834

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	265,464	263,953
1年内返済予定の長期借入金	180,000	-
1年内償還予定の社債	140,000	140,000
未払金	267,946	325,701
預り金	8,855,948	7,238,501
預り暗号資産	43,196,636	49,785,526
借入暗号資産	242,387	163,870
未払法人税等	46,120	16,690
未払消費税等	46,661	56,815
賞与引当金	151,520	146,529
その他	221,643	277,907
流動負債合計	53,614,330	58,415,495
固定負債		
社債	70,000	-
長期借入金	180,000	-
繰延税金負債	474	321
その他	15,193	12,389
固定負債合計	265,667	12,710
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	8	8
特別法上の準備金合計	8	8
負債合計	53,880,006	58,428,215
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	327,951
資本剰余金	12,145,310	12,427,595
利益剰余金	△7,243,833	△8,594,407
自己株式	△103,867	△104,700
株主資本合計	4,847,609	4,056,439
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△63,199	△68,219
為替換算調整勘定	102,665	100,414
その他の包括利益累計額合計	39,465	32,194
新株予約権	3,731	4,287
非支配株主持分	261,984	41,698
純資産合計	5,152,790	4,134,619
負債純資産合計	59,032,797	62,562,834

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年11月1日 至2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年11月1日 至2023年4月30日)
売上高	3,661,796	2,494,947
売上原価	1,999,196	2,391,436
売上総利益	1,662,600	103,510
販売費及び一般管理費	1,598,226	1,500,740
営業利益又は営業損失(△)	64,374	△1,397,230
営業外収益		
受取利息	2,469	1,791
受取配当金	2,983	2,983
賞与引当金戻入額	3,834	1,129
その他	1,469	3,216
営業外収益合計	10,756	9,120
営業外費用		
支払利息	3,337	1,210
投資有価証券評価損	-	54,272
投資有価証券売却損	-	15,862
支払手数料	4,086	1,259
株式交付費	3,376	-
貸倒引当金繰入額	-	73,519
雑損失	2,408	-
その他	2,014	0
営業外費用合計	15,223	146,124
経常利益又は経常損失(△)	59,907	△1,534,233
特別利益		
貸倒引当金戻入額	6,198	2,800
償却債権取立益	150,000	-
負ののれん発生益	637	-
子会社清算益	-	1,461
受取和解金	550,837	-
特別利益合計	707,672	4,261
特別損失		
投資有価証券評価損	-	23,896
特別損失合計	-	23,896
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	767,580	△1,553,869
法人税、住民税及び事業税	94,122	12,658
法人税等合計	94,122	12,658
四半期純利益又は四半期純損失(△)	673,457	△1,566,528
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	158,204	△215,953
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	515,253	△1,350,574

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	673,457	△1,566,528
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20,828	△5,019
為替換算調整勘定	858	△2,251
その他の包括利益合計	△19,969	△7,270
四半期包括利益	653,487	△1,573,798
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	495,283	△1,357,845
非支配株主に係る四半期包括利益	158,204	△215,953

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	767,580	△1,553,869
減価償却費	28,127	7,478
のれん償却額	165,365	-
株式交付費	3,376	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△6,198	70,719
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,987	△4,991
受取利息及び受取配当金	△5,452	△4,775
支払利息	3,337	1,210
負ののれん発生益	△637	-
受取和解金	△550,837	-
償却債権取立益	△150,000	-
投資有価証券売却損益(△は益)	-	15,862
投資有価証券評価損益(△は益)	-	78,169
売上債権の増減額(△は増加)	△76,140	16,919
棚卸資産の増減額(△は増加)	28,653	2,817
自己保有暗号資産の増減額(△は増加)	△994,166	372,496
利用者暗号資産の増減額(△は増加)	△6,826,498	△6,588,889
預け金の増減額(△は増加)	449,256	46,931
仕入債務の増減額(△は減少)	1,462	△1,511
預り暗号資産の増減額(△は減少)	6,826,498	6,588,889
借入暗号資産の増減額(△は減少)	19,166	△78,516
未払消費税等の増減額(△は減少)	△110,172	10,154
預託金の増減額(△は増加)	1,724,200	1,683,000
預り金の増減額(△は減少)	△1,552,939	△1,617,446
その他	△282,515	239,926
小計	△542,520	△715,424
利息及び配当金の受取額	5,894	3,638
和解金の受取額	550,837	-
利息の支払額	△3,833	△1,102
法人税等の支払額	△23,925	△34,883
法人税等の還付額	10,837	462
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,709	△747,308

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,457	△1,299
無形固定資産の取得による支出	△162,697	△17,890
投資有価証券の取得による支出	△23,050	-
投資有価証券の売却による収入	-	31,100
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,577	-
貸付けによる支出	△120,000	-
貸付金の回収による収入	5,906	2,800
償却債権の回収による収入	150,000	-
その他	3,374	1,322
投資活動によるキャッシュ・フロー	△164,501	16,033
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△90,000	△360,000
社債の償還による支出	△70,000	△70,000
株式の発行による収入	102,280	555,125
新株予約権の発行による収入	-	1,335
自己株式の処分による収入	1	-
自己株式の取得による支出	△3,331	△832
その他	△4,191	△2,738
財務活動によるキャッシュ・フロー	△65,240	122,888
現金及び現金同等物に係る換算差額	287	△111
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△232,164	△608,498
現金及び現金同等物の期首残高	4,248,977	2,671,569
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,016,813	2,063,071

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

行使価額修正条項付株式会社CAICA DIGITAL第3回新株予約権の一部権利行使により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ277,951千円増加しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年11月1日 至 2022年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ITサービス 事業	金融サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,378,728	1,283,068	3,661,796	-	3,661,796
セグメント間の内部 売上高又は振替高	100,746	-	100,746	△100,746	-
計	2,479,475	1,283,068	3,762,543	△100,746	3,661,796
セグメント利益又は 損失(△)	278,568	△27,240	251,328	△186,953	64,374

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去の△10,675千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△176,278千円が含まれております。全社費用の主なもの、当社(持株会社)運用に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年11月1日 至 2023年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計
	ITサービス 事業	金融サービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,672,192	△180,956	2,491,236	3,710	2,494,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,838	-	2,838	-	2,838
計	2,675,031	△180,956	2,494,074	3,710	2,497,785
セグメント利益又は 損失(△)	145,221	△1,363,445	△1,218,223	3,710	△1,214,513

	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高		
外部顧客への売上高	-	2,494,947
セグメント間の内部 売上高又は振替高	△2,838	-
計	△2,838	2,494,947
セグメント利益又は 損失(△)	△182,717	△1,397,230

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、メディア事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去の659千円及び各報告セグメントに配分し

ていない全社費用△183,377千円が含まれております。全社費用の主なものは、当社(持株会社)運用に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第3四半期連結会計期間より、新規でメディア事業を開始しており、当該事業の開始により、報告セグメントには含まれない「その他」を追加しております。